



くまのみ通信

中谷外科病院の理念—患者様とともに歩む

-中谷外科病院広報誌-

第6号
2007.3発行

やわらかな春の日差しがうれしい季節になり、待ちに待った春がそこまで訪れています。何か新しいことをはじめたい……そんな気持ちにさせてくれる素敵な季節です。桃のつぼみに希望をこめて「くまのみ通信」第6号をお届けします。



発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳
〒706-0001
玉野市田井3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486
ホームページ <http://www.nakatani-hosp.jp>
Eメール Goiken@nakatani-hosp.jp

《新任ドクターご紹介》

今年1月からお世話になっています佐藤です。内科診療を担当しています。微力ながら地域の患者さん達の支えになれるような医療を目指したいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。



内科部長
佐藤厚子先生

～ジェネリック医薬品ってなに？～

「最近テレビや新聞など色々なところでこの名前を耳にしたことはないでしょうか？」



【ジェネリック医薬品】とは、最初に開発された薬(新薬)の特許期間(約6～10年)が切れた後、厚生労働省の承認を得て、別の製薬会社が同じ成分・同じ効果の薬として製造、販売しているもののことです。

《院内研修》

平成18年12月14日、学研パル専任講師 生田憲夫先生をお迎えして接遇の研修を行いました。相手の方に不愉快な思いをさせない為の接し方、あいさつの大切さなどについて学びました。この学びが少しでも患者様に届くよう職員一同努力してまいりたいと思います。

診療受付時間
月～金 8:30～12:00
15:00～18:30
土 8:30～12:00

＜中谷外科病院の
基本方針＞
1:常に患者様の立場に
立ち、行動する。

1:消化器内視鏡、大腸
肛門病の専門病院として
最新・最善の医療を提供
する。

1:地域医療に貢献し、
社会に開かれた医療を
行う。

1:職員同士の和を重視
し緊密なチーム医療を
実践する。



ジェネリック医薬品の良い点は、新薬と異なり、開発にかかるコストが大幅に削減できるため、値段が先発品より2～8割と安価、という点で患者様の薬に関する負担が軽減します。



新薬とジェネリックで何が違うのかというと……

- ① 同じ成分、同じ効果を持っていても別の製薬会社で作るため、その薬自体の使用評価が少なく安全性に不安がある。
- ② 成分が同じであっても製造工程や添加物が異なるため、適応や効果、副作用の発現頻度が異なる。
- ③ 商品の流通に関して、メーカーによっては、安定供給ができなくて急に生産をストップしたり、納品に時間がかかる場合がある。



いずれにせよ、主治医とよく相談し考えていかなければなりません。当院では、ジェネリック医薬品への変更の希望を受けています。主治医、薬剤師へお気軽にご相談ください。



「ピロリ菌」を知っていますか？



1. ピロリ菌とは

皆さんも一度はピロリ菌の名前を耳にしたことがあると思います。胃の中にすんでいる細菌でヘリコバクター・ピロリといいます。慢性萎縮性胃炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、さらには胃がんなどの原因として大変注目されています。

2. 検査方法

おこなわれる検査は大きく分けて内視鏡（胃カメラ）を使用する検査と内視鏡を使用しない検査（採血、尿、便による検査）に分けることができます。

3. 治療方法

① 除菌治療は二種類の抗生物質と一種類の胃酸の分泌を抑える薬を組み合わせ一週間程度服用していただきます。

* 副作用として

- ◇下痢
- ◇肝機能障害
- ◇味覚異常



などがありますが体調が普段と違うことがあれば、自分の判断でやめたり我慢したりせず、主治医に必ず相談するようにしましょう。

② 除菌終了～1ヶ月後ピロリ菌が除菌されているかを呼気試験にて判定します。必要に応じて胃内視鏡検査にて潰瘍の治り具合を調べます。※空腹で来院してください。

ピロリ菌の除菌に成功すると

- ◇何度も再発を繰り返していた潰瘍の再発がおさえられる
- ◇維持療法(潰瘍が治った後も再発予防のために薬を飲み続ける)が必要なくなる

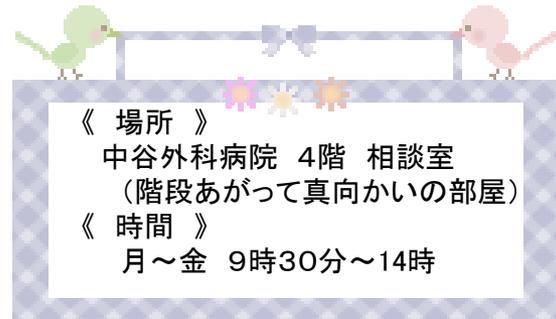
などの効果があります。ただし除菌の治療は中途半端でやめたりすると、ピロリ菌が薬に対して耐性を持ち次に除菌しようと思っても薬が効かなくなるおそれがありますので必ず医師の指示通りに飲むことが必要です。



～ 医療相談室のお知らせ ～

2月より当院にも医療相談室ができました。病気やけがをすると、今まで考えもしなかった悩みや心配事ができます。当院ではそういった問題や悩み事を解決できるよう専門の医療相談員がお手伝いさせていただくことになりました。

お気軽にご相談下さい。(相談員：山崎)



「そろそろ卒煙しませんか？」

タバコは、その煙に含まれる200種類以上の有害物によりガンだけでなく、血液の流れを悪くして脳や心臓にも悪影響を及ぼします。

ご自分の身体の事だけでなく、大切な家族を病気から守るためにもそろそろ卒煙しませんか？

当院では禁煙に対してのご相談も承っております。どうぞお気軽にご相談ください。

そこまでは……と思われる方にはアレン・カー著『禁煙セラピー』を読まれることをお勧めします。尚、当院では今年、1月より全館禁煙となりました。皆様のご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

